

## 建築生産系国際ワークショップ(ベトナムワークショップ)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年09月16日 ～2023年09月25日	ベトナム	交通運輸大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築学科、建築学専攻</li> <li>・学部2年生、学部3年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生</li> </ul>	(芝浦工業大学) 学生21名、学生バイト2名、 教員2名、職員1名 (交通運輸大学) 学生20名、教員2名	志手 一哉(建築学科)、 鎌澤 宏剛(建築学科)



図1 成果発表会後の集合写真

2023年9月16日～25日の10日間、ベトナム ハノイのUniversity of Transport and Communications(UTC)のFaculty of Construction Managementと、芝浦工業大学の建築生産を専攻している学生が合同で、建築生産系国際ワークショップを実施しました。参加学生は、UTCが20名、SITが23名と大人数で行いました。ワークショップのテーマは、現在、建設中のハノイ都市鉄道3号線のカウザイ駅周辺の20年後～30年後を検討してBIMソフトウェアで計画するというものでした。カウザイ駅はUTCキャンパスとトゥーレ公園に挟まれた立地です。交通系が専門のUTCの学生と、建築が専門のSITの学生が混生チームを6チーム組成して、各々がアイデアを出し合って計画を練り、BIMモデル化するワークショップでした。各グループのリーダーがBIMマネージャを担当し、4日間のワークタイムで完成度の高いプレゼンテーションに辿り着いたと思います。

成果発表会は、ゲストの他、学生の一般聴講者も参加して盛大に行われました。学生の成果発表に花を添えるごとく、建設省建築経済研究所、Hoa Binh建設グループのゲストスピーカーによるプレゼンテーションもあり、さながらBIMイベントの様相でした。



図2 計画の中心としたカウザイ駅



図3 ワークショップの様子1



図4 ワークショップの様子2



図5 成果発表会会場の様子



図6 プレゼンテーションの様子1



図7 プレゼンテーションの様子2